

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(国際コミュニケーション学科 (昼間部) 2年制)

科目区分	分類	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
講義	必修	表現力	80	○	80			
実習	必修		80	○	80			
講義	必修	異文化コミュニケーション	160	○	160			
講義	必修	日本文化芸能論	80	○	80			
講義	必修	グローバル時事・経済	80	○	80	☆	40	1年次40時間
講義	必修	グローバル経営・マーケティング	80	○	80			
実習	必修	マナートレーニング	80	○	80	☆	40	1年次40時間
講義	必修	プロジェクトチームワーク	80	○	80			
実習	必修		80	○	80			
講義	必修	文章表現	80	○	80			
実習	必修		80	○	80			
講義	必修	IT情報リテラシー	80	○	80			
講義	必修	ビジネス検定対策	80	○	80			
実習	必修	サービス接遇スキルアップ	80	○	80			
実習	必修	面接対策	80	○	80			
講義	必修	グローバルコミュニケーション英語	80	○	80			
講義	選択A	TOEIC	160	○	160			
講義	選択A	BJT	160	○	160			
講義	選択A	プレゼンテーション	160	○	160			
講義	選択A	SPI	160	○	160			
講義	選択A	通訳翻訳基礎	160	○	160	☆	80	1年次80時間
講義	選択B	TOEFL	160	○	160			
講義	選択B	一般教養 政治・経済	160	○	160			
講義	選択B	一般教養 地理・歴史	160	○	160			
講義	選択B	一般教養 数学	320	○	320			
総授業時数			2,160		2,160		160	
卒業に必要な授業時数 (学則)			2,160					

※ 選択科目は、A又はBの中から選択し、履修するものとする。

専門学校 東京声優アカデミー 国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	一般教養数学	熊沢彩子	8単位／160時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>一般教養としての数学、計算力を身につけて、基本的な問題を解くことができる。 大学の研究や就職後の業務に役立つ概念や定理を理解し、使えるようになる。</p>			
【講義概要】			
<p>大学の研究や就職後の業務を想定して、数学の基本的な概念や定理を学ぶ。 基礎学力の復習として中学から高校までに学ぶ数学の基礎項目を丁寧に復習していき、不自由なく数学を扱えるようになることを目標とする。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	16	関数の極限2収束と発散
2	中学、高校の復習	17	関数の極限3極限公式
3	数と式の計算1	18	関数の極限4極限公式
4	数と式の計算2	19	微分1
5	関数とグラフ1	20	微分2
6	関数とグラフ2	21	積分1
7	指数関数・対数関数1	22	積分2
8	指数関数・対数関数2	23	集合1
9	指数関数・対数関数3	24	集合2
10	指数関数・対数関数4	25	集合3
11	三角関数1	26	順列と組合せ・確率1
12	三角関数2	27	順列と組合せ・確率2
13	三角関数3	28	ベクトルと空間図形1
14	三角関数4	29	ベクトルと空間図形2
15	関数の極限1収束と発散	30	期末テスト
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は基本的に講義形式だが、テーマに応じてグループディスカッションなどを行う。 数学の応用を学ぶのではなく、あくまでもリメディアルとしての位置づけとする。 担当教員は進学塾等で中高生への指導を行ってきた専門家であり、その実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー 国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	一般教養地理・歴史	熊沢彩子	4単位／80時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>一般教養としての地理と歴史を身につける。</p> <p>大学の研究や就職後の業務に役立つ概念や定理を理解し、使えるようになる。</p> <p>日常の出来事と関連付けて説明ができるようになる。</p>			
【講義概要】			
<p>進学や就職後に必要な基礎知識のうち、地理と歴史について学ぶ。</p> <p>基礎学力の復習として中学から高校までに学ぶ地理と歴史の基礎項目を丁寧に復習していき、現代社会にある出来事を結びつけながら知識を深めていく。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、地理：地球儀と地図	16	歴史：産業革命
2	地理：距離と方位	17	歴史：アメリカ独立革命
3	地理：空中写真と衛星画像	18	歴史：フランス革命
4	地理：標準時と時差	19	歴史：国民国家の形成
5	地理：地理情報	20	歴史：帝国主義と植民地化1
6	地理：気候	21	歴史：帝国主義と植民地化2
7	地理：地形	22	歴史：帝国主義と植民地化3
8	地理：植生	23	歴史：20世紀の世界と日本1
9	地理：資源と産業	24	歴史：20世紀の世界と日本2
10	地理：人口	25	歴史：20世紀の世界と日本3
11	地理：都市、村落	26	歴史：石油危機1
12	地理：交通と通信	27	歴史：石油危機2
13	地理：自然環境と災害・防災	28	歴史：冷戦体制の崩壊1
14	地理：日本の国土と環境	29	歴史：冷戦体制の崩壊2
15	地理：確認テスト	30	歴史：確認テスト
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は基本的に講義形式だが、テーマに応じてグループディスカッションなどを行う。</p> <p>地理歴史の専門性を深めるのではなく、あくまでもリメディアルとしての位置づけとする。</p> <p>担当教員は進学塾等で中高生への指導を行ってきた専門家であり、その実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー 国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	一般教養政治・経済	柳沼 壽	4単位／80時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ミクロ経済学の基本的概念を説明できる。 現実の経済現象を専門用語で説明できる。</p>			
【講義概要】			
<p>経済学には主として個別の企業や家計の行動を分析するミクロ経済学と、経済全体の動きを分析するマクロ経済学がある。ミクロ経済学について、後期は、企業経済学のテーマを紹介し、マクロ経済学の概念と様々な応用分析を学び、経済活動と日常生活の関係性についても学ぶ。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	イントロダクション	16	企業の経済学-1- 企業価値/株価決定
2	なぜ経済学を学ぶのか？企業の浮き沈み	17	企業の経済学-2- 3つの経済性
3	市場と競争-1-市場の構造、需要と供給	18	日本のマクロ経済-1- 集計的付加価値
4	市場と競争-2- 需要曲線と消費者行動	19	日本のマクロ経済-2- 低成長、物価、失業
5	市場と競争-3-消費者余剰と生産者余剰	20	本のマクロ経済-3- 貨幣量、利子率、為替相場
6	市場の失敗-1-独占の理論、完全競争・独占的競争	21	マクロ経済の仕組み-1-経済循環、三面等価の法則
7	市場の失敗-2-外部性	22	マクロ経済の仕組み-2-貯蓄投資バランス
8	市場の失敗-3-公共財	23	マクロ経済の仕組み -3-総需要と均衡
9	市場の失敗-4-不確実性、情報の非対称性	24	財政と金融-1- 財政の機能と仕組み
10	市場の失敗-5-レモンの市場	25	財政と金融-2- 財政の機能と仕組み
11	市場の失敗-6-モラルハザード	26	国際ビジネスの経済学-1-貿易、比較優位と経済厚生
12	競争と戦略-1-差別化競争と価格競争	27	国際ビジネスの経済学-2-資本移動・貿易、為替相場
13	競争と戦略-2-ゲームの理論、支配戦略均衡	28	国際ビジネスの経済学-3- 為替レート決定理論
14	競争と戦略-3-ナッシュ均衡	29	国際ビジネスの経済学-4-貿易と景気変動
15	競争と戦略-4-展開型ゲーム、参入阻止行動	30	期末テスト
【成績評価方法】			
小テスト3回(60%)、最終レポート(30%)、グループ討論まとめ(10%)			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は基本的に講義形式だが、テーマに応じてグループディスカッションなどを行う。 担当教員は日本開発銀行(現日本政策投資銀行)などで役職を歴任し、企業向けの研修や講演なども数多く手がけている。これらの実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー 国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	TOEFL	近藤淳子	4単位／80時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>各分野に関する専門的な語彙や表現、教養を身につける。 海外の大学で通用する「読む」「聞く」「書く」「話す」能力を身につける。</p>			
【講義概要】			
<p>TOEFLの傾向と対策を学び、TOEFLに対応できる総合的な英語力を身につけることを目指す。 TOEFL対策を通して、様々な分野の学術的な英語に触れながら、幅広く教養を身につけていく。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーションTOEFLとは	16	Listening Section4
2	模擬試験 I Listening, Structure& Written Expression	17	Listening Section5
3	模擬試験 I Reading	18	Listening Section6
4	Listening Section1	19	Reading Section4
5	Listening Section2	20	Reading Section5
6	Listening Section3	21	Reading Section6
7	Reading Section1	22	Writing Section4
8	Reading Section2	23	Writing Section5
9	Reading Section3	24	Writing Section6
10	Writing Section1	25	Speaking Section4
11	Writing Section2	26	Speaking Section5
12	Writing Section3	27	Speaking Section6
13	Speaking Section1	28	模擬試験 II Listening, Structure& Written Expression
14	Speaking Section2	29	模擬試験 II Reading
15	Speaking Section3	30	総復習
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は基本的に講義形式と確認のための小テストを行っていく。 担当教員は省庁、大学でTOEFL、TOEIC対策や英語を教える専門家であり、実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	通訳翻訳基礎	平川明子	4単位／80時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>通訳と翻訳の基礎を理解する。</p> <p>母国語と日本語の簡単な通訳と翻訳ができるようになる。</p>			
【講義概要】			
<p>英語と日本語の通訳と翻訳を通して、通訳翻訳の方法論の基礎を学ぶ。</p> <p>専門家レベルではなくても、日常や職場などで使えるテクニックや方法論を場面別の実例を元に学ぶ。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	16	通訳トレーニング逐次通訳5
2	日本の通訳翻訳史1	17	通訳トレーニング逐次通訳6
3	日本の通訳翻訳史2	18	翻訳トレーニング長文の翻訳5
4	世界の通訳翻訳史1	19	翻訳トレーニング長文の翻訳6
5	世界の通訳翻訳史2	20	通訳トレーニング場面別7
6	様々な通訳方法について	21	通訳トレーニング場面別8
7	様々な翻訳方法について	22	翻訳トレーニング時事関連7
8	通訳トレーニングリプロダクション1	23	翻訳トレーニング時事関連8
9	通訳トレーニングリプロダクション2	24	通訳トレーニング場面別9
10	翻訳トレーニング短文の翻訳1	25	通訳トレーニング場面別10
11	翻訳トレーニング短文の翻訳2	26	翻訳トレーニング時事関連9
12	通訳トレーニングサイトトランスレーション3	27	翻訳トレーニング時事関連10
13	通訳トレーニングサイトトランスレーション4	28	翻訳確認テスト
14	翻訳トレーニング中文の翻訳3	29	通訳確認テスト
15	翻訳トレーニング中文の翻訳4	30	総まとめ
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は基本的に講義形式であるが各回短い通訳翻訳のトレーニングを行う。</p> <p>担当教員はこれまで通訳と翻訳の実務経験を積んでおり、翻訳会社を設立。</p> <p>これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	SPI	佐々木隼人	4単位／80時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
採用試験で正確に速答ができるようになる。			
試験形式に慣れ、本番に向けて自主学習を行うことができるようになる。			
言語系、非言語系の問題を解くことで職業観を身につける。			
【講義概要】			
企業就職に必要なSPI試験対策を行う。			
対策を通して、社会人としての言語系・非言語系における基礎学力を身につける。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーションSPIとは	16	金銭計算3仕事算
2	推論1論理的関係・順位関係	17	金銭計算4精算
3	推論2位置関係・勝敗関係・対応関係	18	金銭計算5売買の条件
4	計算1割合	19	図表1ラフの領域
5	計算2比率	20	図表2条件と領域
6	計算3速度	21	図表3ブラックボックス
7	計算4旅人算	22	図表4モノの流れと比率
8	計算5場合の数	23	言語系1同意語・反意語
9	計算6確率	24	言語系2二語関係・語句の意味
10	計算7集合	25	言語系3 空所補充・文章整序
11	計算8表計算	26	言語系4長文読解
12	計算9資料解釈	27	非言語系確認テスト
13	計算10長文の計算	28	言語系確認テスト
14	金銭計算1損益算	29	期末テスト
15	金銭計算2分割払い	30	総まとめ
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
授業は基本的に講義形式であるが各回確認のための小テストを行う。			
担当教員は高校生や大学生への就職活動支援の経験を持っており、これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	プレゼンテーション	佐々木隼人	4単位／80時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
Power Pointを使ったプレゼンテーションができるようになる。 プレゼンテーションに必要な、構成、情報収集、資料作成、フレーズ作成ができるようになる。			
【講義概要】			
聞き手の心を動かすプレゼンテーションについて、実例を交えながら、基礎の技術を学んでいく。 一般的なプレゼンテーションのソフトだけでなく他の効果的な方法についても知り、 また、伝え方についても学びプレゼンテーション能力を総合的に高める。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーションプレゼンテーションとは	16	プレゼンテーションの伝え方、話す技術1
2	プレゼンテーションソフトPower Point1	17	プレゼンテーションの伝え方、話す技術2
3	プレゼンテーションソフトPower Point2	18	プレゼンテーションの伝え方、話す技術3
4	プレゼンテーションソフトPower Point3	19	プレゼンテーションの伝え方、話す技術4
5	プレゼンテーションソフトその他のアプリケーション	20	ストーリー構成
6	ストーリーの作り方1	21	課題調査1
7	ストーリーの作り方2	22	課題調査2
8	情報の収集と整理方法について1	23	課題調査3
9	情報の収集と整理方法について2	24	プレゼンテーション資料作成1
10	情報の収集と整理方法について3	25	プレゼンテーション資料作成2
11	資料の種類と作成方法について1	26	リハーサル
12	資料の種類と作成方法について2	27	個人発表1
13	資料の種類と作成方法について3	28	個人発表2
14	フレーズ化について1	29	個人発表3
15	フレーズ化について2	30	振り返り、フィードバック
【成績評価方法】			
授業参加40%、個人発表60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
授業は基本的に講義形式であるが各回短いスピーチトレーニングを行う。 担当教員は社内や企業や官公庁顧客への企画提案の経験を持っており、これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	BJT	佐々木隼人	4単位／80時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>様々な日本のビジネス場面に関する語彙や表現やビジネスマナーを身につける。</p> <p>試験形式に慣れ、BJTビジネス日本語能力テストの問題を短い時間で正確に解くことができるようになる。</p>			
【講義概要】			
<p>公益財団法人日本漢字能力検定協会実施のBJTビジネス日本語能力テスト対策を行う。</p> <p>対策を通して日本のビジネス場面に応じて使われる語彙や表現、ビジネスマナーなどを学び、高いビジネスコミュニケーション能力も身につける。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーションBJTとは	16	Listening & Reading Section資料超読解2
2	模擬試験 I	17	Listening & Reading Section資料超読解3
3	Listening Section場面把握1	18	Listening & Reading Section総合超読解1
4	Listening Section場面把握2	19	Listening & Reading Section総合超読解2
5	Listening Section場面把握3	20	Listening & Reading Section総合超読解3
6	Listening Section発言聴解1	21	Reading Section語彙文法1
7	Listening Section発言聴解2	22	Reading Section語彙文法2
8	Listening Section発言聴解3	23	Reading Section表現読解1
9	Listening Section総合聴解1	24	Reading Section表現読解2
10	Listening Section総合聴解2	25	Reading Section総合読解1
11	Listening Section総合聴解3	26	Reading Section総合読解2
12	Listening & Reading Section状況把握1	27	Reading Section総合読解3
13	Listening & Reading Section状況把握2	28	模擬試験 II
14	Listening & Reading Section状況把握3	29	期末試験
15	Listening & Reading Section資料超読解1	30	総復習
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は基本的に講義形式と確認のための小テストを行っていく。</p> <p>担当教員は企業や大学、官公庁でBJT対策を行ってきた経歴を持っており、これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	TOEIC	近藤淳子	4単位／80時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>英語の語彙と表現を身につけて、TOEICの問題を短い時間で正確に解くことができるようになる。</p> <p>試験形式に慣れ、本番に向けて自主学習を行うことができるようになる。</p> <p>進学、就職に必要なTOEICのスコアを獲れる英語力を身につける。</p>			
【講義概要】			
<p>TOEIC形式の問題の実践練習を繰り返し取り組み、語彙、表現などを覚え、問題形式に慣れていく。</p> <p>また、TOEICの各パートに必要な英語力を向上させ、ビジネスに関する知識と英語の運用力を総合的に身につける。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーションTOEICとは	16	Listening Section説明文4
2	模擬試験 I	17	Reading Section短文穴埋め1
3	Listening Section描写1	18	Reading Section短文穴埋め2
4	Listening Section描写2	19	Reading Section短文穴埋め3
5	Listening Section描写3	20	Reading Section長文穴埋め1
6	Listening Section応答1	21	Reading Section長文穴埋め2
7	Listening Section応答2	22	Reading Section長文穴埋め3
8	Listening Section応答3	23	Reading Section読解1
9	Listening Section会話1	24	Reading Section読解2
10	Listening Section会話2	25	Reading Section読解3
11	Listening Section会話3	26	Reading Section読解4
12	Listening Section会話4	27	Reading Section読解5
13	Listening Section説明文1	28	模擬試験 II
14	Listening Section説明文2	29	期末試験
15	Listening Section説明文3	30	総復習
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は基本的に講義形式と確認のための小テストを行っていく。</p> <p>担当教員は省庁、大学でTOEFL、TOEIC対策や英語を教える専門家であり、実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー 国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	グローバルコミュニケーション英語	Christina Snyder	2単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>英語を使ったコミュニケーション力を身につける</p> <p>日常からフォーマルまで様々な場面で、簡単な英語を使って自分の考えや相手への依頼や物事の説明などができるようになる。</p>			
【講義概要】			
<p>世界の共通言語として使われている英語の特に「話す」と「聞く」の練習を行う。</p> <p>練習は会話の場面ごとに行い、そのときに必要な語彙や文法表現を同時に学ぶ。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	Getting Started	16	Talking About Your Company 1
2	Introductions & Small Talk 1	17	Talking About Your Company 2
3	Introductions & Small Talk 2	18	Putting It All Together III
4	Introductions & Small Talk 3	19	Telephoning 1
5	Reactions	20	Telephoning 2
6	Ending a Conversation	21	Telephoning 3
7	Putting It All Together I	22	Putting It All Together IV
8	Describing People 1	23	Directions 1
9	Describing People 2	24	Directions 2
10	Talking About Yourself 1	25	Putting It All Together V
11	Talking About Yourself 2	26	Schedules & Appointments 1
12	Talking About Yourself 3	27	Schedules & Appointments 2
13	Putting It All Together II	28	Offers & Requests
14	Talking About Objects 1	29	Putting It All Together VI
15	Talking About Objects 2	30	Test
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は基本的に講義形式だが、テーマに応じてグループワークなどを行う。</p> <p>担当教員は株式会社グローヴァの英語教師で、実務経験を積んだTESOL(Teaching English to Speakers of Other Languages)の取得者である。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実習	面接対策	梅田美由記	1単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>就職や入学試験で行われる面接で、自分の考えや意見を伝えることができる。</p> <p>就職や入学試験に必要な書類作成や準備が自らできる。</p>			
【講義概要】			
<p>就職や入学試験のあらゆる面接を想定し、自分の考えや意見、個性を表現できるよう実践的なトレーニングを行う。</p> <p>自己PRや志望動機、長所短所、がんばってきたことの作成、他、履歴書の作成や面接マナーなども学ぶ。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション面接とは	16	分野、業界分析1
2	様々な面接形式について1	17	分野、業界分析2
3	様々な面接形式について2	18	分野、業界分析3
4	履歴書の作り方1	19	分野、業界分析4
5	履歴書の作り方2	20	志望動機作成
6	自己分析人生曲線1	21	志望動機トレーニング
7	自己分析人生曲線2	22	伝える技術ブラッシュアップ1
8	自己分析人生曲線3	23	伝える技術ブラッシュアップ2
9	自己分析自分史1	24	伝える技術ブラッシュアップ3
10	自己分析自分史2	25	模擬面接1
11	自己分析自分史3	26	模擬面接フィードバック1
12	自己PR作成	27	模擬面接2
13	自己PRトレーニング	28	模擬面接フィードバック2
14	面接会場入退室について1	29	期末テスト
15	面接会場入退室について2	30	総まとめ
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は基本的に実習形式で行い、各回短いスピーチトレーニングを実施する。</p> <p>担当教員は社内や企業へのマナー研修や人材育成研修実施の経験を持っており、これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実習	サービス接客スキルアップ	梅田美由記	1単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>サービス接客検定の3級または2級を取得する。</p> <p>検定対策を通して、サービスに対する心構えや応対の技術を身につける。</p>			
【講義概要】			
<p>サービス接客検定対策を行う。対策を通して、サービスに対する心構えや顧客心理の理解、応対の技術 言葉遣い、立ち居振る舞いなどを身につける。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーションサービス接客検定とは	16	対人技能1
2	模擬試験1	17	対人技能2
3	サービススタッフの資質1	18	接客知識1
4	サービススタッフの資質2	19	接客知識2
5	従業要件1	20	接客知識3
6	従業要件2	21	丁寧な話し方1
7	サービスの知識1	22	丁寧な話し方2
8	サービスの知識2	23	身だしなみ服装
9	サービスの知識3	24	実務技能1 問題処理
10	商業用語、経済用語	25	実務技能2 環境整備
11	従業知識1	26	実務技能3 金品管理
12	従業知識2	27	実務技能4 社交業務
13	サービスと社会常識1	28	模擬試験2
14	サービスと社会常識2	29	期末試験
15	サービスと社会常識3	30	総復習
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は基本的にグループワークやディスカッションなども行う実習形式である。</p> <p>担当教員は社内や企業へのマナー研修や人材育成研修実施の経歴を持っており、これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	ビジネス検定対策	梅田美由記	2単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ビジネス実務マナー検定の3級または2級を取得する。 検定対策を通して、仕事の仕方やマナーを身につける。</p>			
【講義概要】			
<p>ビジネスマナー実務検定対策を行う。対策を通して、社会人として業務を行う際に必要である常識的な判断や行動力を身につける。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーションビジネス実務マナー検定とは	16	丁寧な話し方1
2	模擬試験1	17	丁寧な話し方2
3	必要とされる資質	18	一般的な交際業務1
4	ビジネスマンとしての資質1	19	一般的な交際業務2
5	ビジネスマンとしての資質2	20	電話実務 会話力1
6	ビジネスマンとしての資質3	21	電話実務 会話力2
7	執務要件1	22	電話実務 応対力1
8	執務要件2	23	電話実務 応対力2
9	企業実務	24	情報の整理と伝達
10	組織の機能1	25	文書の取り扱い1
11	組織の機能2	26	文書の取り扱い2
12	実務における対人関係	27	会議の実施について
13	マナー1	28	模擬試験2
14	マナー2	29	期末試験
15	マナー3	30	総復習
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は基本的にグループワークやディスカッションなども行う実習形式である。 担当教員は社内や企業へのマナー研修や人材育成研修実施の経歴を持っており、これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	IT情報リテラシー	戸田 佑也	2単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を収集、分析し、活用することができる。 ・ 集めた情報にさらに付加価値を加え、発信することができる。 			
【講義概要】			
<p>現代社会は非常に多くの情報であふれており、社会において、正確かつ価値のある情報を集め、活用するとともに、自身が情報の発信者になるためには、様々なスキルが求められる。本講義では、情報の収集から分析、発信までに必要なスキルを総合的に学び、演習を通じて習得することを目指す。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	16	情報発信①:個人が活用できるWebメディア1
2	情報過多の時代に何を発信するか1	17	情報発信①:個人が活用できるWebメディア2
3	情報過多の時代に何を発信するか2	18	情報発信①:個人が活用できるWebメディア3
4	情報収集①:文献調査法1	19	情報発信②:個人 Webサイトの制作1
5	情報収集①:文献調査法2	20	情報発信②:個人 Webサイトの制作2
6	情報収集②:アンケート調査法1	21	情報発信②:個人 Webサイトの制作3
7	情報収集②:アンケート調査法2	22	総合演習①:テーマ選定1
8	情報収集③:質的調査法1	23	総合演習①:テーマ選定2
9	情報収集③:質的調査法2	24	総合演習②:進捗報告(リサーチ結果)1
10	情報分析①:Rの基本1	25	総合演習②:進捗報告(リサーチ結果)2
11	情報分析①:Rの基本2	26	総合演習③:進捗報告(動画・Webサイト制作)1
12	情報分析②:Rによるデータ分析1	27	総合演習③:進捗報告(動画・Webサイト制作)2
13	情報分析②:Rによるデータ分析2	28	総合演習④:プレゼンテーション1
14	情報分析③:Rによるテキストマイニング1	29	総合演習④:プレゼンテーション2
15	情報分析③:Rによるテキストマイニング2	30	レポート作成、提出
【成績評価方法】			
授業参加40%、各回の課題及び期末レポートによる総合的な評価60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は講義のほか、学外でのリサーチ等も行う。担当教員は三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社で中央省庁・地方自治体の受託調査等の実務経験を持ち、株式会社あらまほしを設立し、日本文化や産業を社会に広げる事業を展開。これらの実務経験に基づいて授業を行う。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実習	文章表現	倉澤雅子	1単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>正しく、意味の通る文が書ける。身近なテーマについて、首尾一貫した文章で、自分の考えを記述することができる。 身近な社会問題などについて、自分なりの意見を論理的な文章にできる。 様々な意見や事実をまとめたり、比較したりしながら、自分の考えを文章にできる。</p>			
【講義概要】			
<p>正しく、首尾一貫した文章が書けるようになることを目標に、良い例と悪い例を挙げながら講義する。 実際に様々なテーマで小論文を書き、自分の考えを整理し、順序立てて文章にする練習をする。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション文章表現の技術とは	16	二つの意見1〔要約、作文発表〕
2	文章作成能力のチェック〔要約、作文発表〕	17	二つの意見2〔作文発表〕
3	「である体」について〔作文発表〕	18	一つの意見1〔作文発表〕
4	助詞、基本的な意見文の組み立て方〔作文発表〕	19	一つの意見2〔作文発表〕
5	文体、書き言葉について〔作文発表〕	20	将来の予測1〔作文発表〕
6	自他動詞、受け身〔作文発表〕	21	将来の予測2〔作文発表〕
7	名詞化、和語・漢語〔作文発表〕	22	小論文について〔要約、作文発表〕
8	首尾一貫した文〔作文発表〕	23	よく使われる表現の分析〔要約、作文発表〕
9	質問と自分の意見の分析〔作文発表〕	24	論理の立て方トレーニング〔要約、作文発表〕
10	呼応の技術〔作文発表〕	25	テーマ論文作成1〔作文発表〕
11	因果関係、接続詞〔作文発表〕	26	テーマ論文作成2〔作文発表〕
12	気持ちを表す表現〔作文発表〕	27	テーマ論文作成3〔作文発表〕
13	意見と根拠〔作文発表〕	28	テーマ論文作成4〔作文発表〕
14	文の長さや読みやすさ〔作文発表〕	29	期末テスト
15	比較、対比の表現〔作文発表〕	30	総まとめ
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は講義と実習形式で行い、実習では各回作文や要約の発表を行う。 担当教員は文章添削や論文指導の経験を持っており、これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	文章表現	倉澤雅子	2単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>正しく、意味の通る文が書ける。身近なテーマについて、首尾一貫した文章で、自分の考えを記述することができる。 身近な社会問題などについて、自分なりの意見を論理的な文章にできる。 様々な意見や事実をまとめたり、比較したりしながら、自分の考えを文章にできる。</p>			
【講義概要】			
<p>正しく、首尾一貫した文章が書けるようになることを目標に、良い例と悪い例を挙げながら講義する。 実際に様々なテーマで小論文を書き、自分の考えを整理し、順序立てて文章にする練習をする。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション文章表現の技術とは	16	二つの意見1
2	文章作成能力のチェック	17	二つの意見2
3	「である体」について	18	一つの意見1
4	助詞、基本的な意見文の組み立て方	19	一つの意見2
5	文体、書き言葉について	20	将来の予測1
6	自他動詞、受け身	21	将来の予測2
7	名詞化、和語・漢語	22	小論文について
8	首尾一貫した文	23	よく使われる表現の分析
9	質問と自分の意見の分析	24	論理の立て方トレーニング
10	呼応の技術	25	テーマ論文作成1
11	因果関係、接続詞	26	テーマ論文作成2
12	気持ちを表す表現	27	テーマ論文作成3
13	意見と根拠	28	テーマ論文作成4
14	文の長さや読みやすさ	29	期末テスト
15	比較、対比の表現	30	総まとめ
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は講義と実習形式で行い、実習では各回作文や要約の発表を行う。 担当教員は文章添削や論文指導の経験を持っており、これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実習	プロジェクトチームワーク	池田友惟、吉田香	1単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>自ら課題を見つけ、課題の分析、情報の収集、解決の立案ができる。</p> <p>PDCAサイクルを自立的に回すことができる。</p> <p>SDGsに関心を持つ。</p>			
【講義概要】			
<p>恵比寿を起点に、渋谷区、東京都、日本全国など、地域の産業や文化などについて調査、分析、発表を多国籍グループで行う。課題、問題点の提示を受け、グループによるPBL(Problem Based Learning)学習法を通じて、総合的な課題解決力を養う。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	16	グループ調査1
2	アイスブレイキング、チームビルディング	17	グループ調査2
3	SDGsについて1	18	グループ調査3
4	SDGsについて2	19	中間報告1
5	SDGsについて3	20	中間報告2
6	課題の調査1	21	解決方法の検証1
7	課題の調査2	22	解決方法の検証2
8	課題の設定1	23	解決方法の検証3
9	課題の設定2	24	成果発表1
10	解決方法の立案1	25	成果発表2
11	解決方法の立案2	26	成果修正1
12	計画の設定1	27	成果修正2
13	計画の設定2	28	リハーサル
14	自主学習1	29	全体発表
15	自主学習2	30	フィードバック
【成績評価方法】			
授業参加40%、成果発表60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は講義形式で行い、毎回実習としてリサーチとグループワークと発表を行う。</p> <p>担当教員はPBLやSDGsを使った指導の経験を持っており、これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	プロジェクトチームワーク	池田友惟、吉田香	2単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>自ら課題を見つけ、課題の分析、情報の収集、解決の立案ができる。</p> <p>PDCAサイクルを自立的に回すことができる。</p> <p>SDGsに関心を持つ。</p>			
【講義概要】			
<p>恵比寿を起点に、渋谷区、東京都、日本全国など、地域の産業や文化などについて調査、分析、発表を多国籍グループで行う。課題、問題点の提示を受け、グループによるPBL(Problem Based Learning)学習法を通じて、総合的な課題解決力を養う。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	16	グループ調査1
2	アイスブレイキング、チームビルディング	17	グループ調査2
3	SDGsについて1	18	グループ調査3
4	SDGsについて2	19	中間報告1
5	SDGsについて3	20	中間報告2
6	課題の調査1	21	解決方法の検証1
7	課題の調査2	22	解決方法の検証2
8	課題の設定1	23	解決方法の検証3
9	課題の設定2	24	成果発表1
10	解決方法の立案1	25	成果発表2
11	解決方法の立案2	26	成果修正1
12	計画の設定1	27	成果修正2
13	計画の設定2	28	リハーサル
14	自主学習1	29	全体発表
15	自主学習2	30	フィードバック
【成績評価方法】			
授業参加40%、成果発表60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は講義形式で行い、毎回実習としてリサーチとグループワークと発表を行う。</p> <p>担当教員はPBLやSDGsを使った指導の経験を持っており、これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実習	マナートレーニング	梅田美由記	1単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>社会人として必要な挨拶や所作、場面によって必要とされるマナーを身につける。 場面に応じて正しい敬語がスムーズに使えるようになる。</p>			
【講義概要】			
<p>社会人として必要な挨拶や所作、場面によって必要とされるマナーを実践的に学ぶ。 また正しい言葉づかいを習得するために所作と同時に敬語も使えるようにトレーニングを行う。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	16	会食マナー
2	挨拶の基本	17	席次
3	身だしなみ、服装について	18	電話対応1
4	所作の基本	19	電話対応2
5	入室と退室について	20	電話対応3
6	話し方について	21	電話対応4
7	言葉づかいについて敬語1	22	電話対応5
8	言葉づかいについて敬語2	23	ビジネスメールの使用について1
9	言葉づかいについて敬語3	24	ビジネスメールの使用について2
10	整理整頓の意識について	25	ビジネスメールの使用について3
11	会社の組織について	26	指示を受けること、指示をすることについて
12	名刺交換	27	報告、連絡、相談1
13	接客対応	28	報告、連絡、相談2
14	会社訪問1	29	期末テスト
15	会社訪問2	30	総まとめ
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は基本的にグループワークやディスカッションなども行う実習形式である。 担当教員は社内や企業へのマナー研修や人材育成研修実施の経歴を持っており、これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	グローバル経営・マーケティング	戸田 佑也	2単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>これからの社会変化の大きな流れを掴む。 新たな事業を創造する際に必要なステップがわかる。</p>			
【講義概要】			
<p>社会の変化、トレンドを知り、考えとともに、自らが新たな事業を想像/創造していく際に必要な方法論、アプローチについて学ぶ。実際にアイデアの立案、検証、市場リサーチを行いレポートの作成を行う。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	16	外的環境の分析3
2	マーケティングの基本とは1	17	戦略的な事業計画1
3	マーケティングの基本とは2	18	戦略的な事業計画2
4	マーケティングの基本とは3	19	戦略的な事業計画3
5	戦略的経営1	20	市場分析と細分化1
6	戦略的経営2	21	市場分析と細分化2
7	戦略的経営3	22	市場分析と細分化3
8	ステークスホルダー・コンセプト1	23	市場分析と細分化4
9	ステークスホルダー・コンセプト2	24	ブランディング1
10	ステークスホルダー・コンセプト3	25	ブランディング2
11	ビジネスの領域設定1	26	価格のストラテジー1
12	ビジネスの領域設定2	27	価格のストラテジー2
13	ビジネスの領域設定3	28	販売促進戦略1
14	外的環境の分析1	29	販売促進戦略2
15	外的環境の分析2	30	期末テスト
【成績評価方法】			
<p>授業参加40%、各回の課題及び期末レポートによる総合的な評価60%</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は講義のほか、学外でのリサーチ等も行う。担当教員は三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社で中央省庁・地方自治体の受託調査等の実務経験を持ち、株式会社あらまほしを設立し、日本文化や産業を社会に広げる事業を展開。これらの実務経験に基づいて授業を行う。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	グローバル時事・経済	柳沼 壽	2単位／40時間

【授業の到達目標及びテーマ】

マクロ経済の理解に必要な基本的概念と、経済活動のグローバル化に伴う現象を専門用語で説明できる。
 経済学・経営学における基本的概念を説明できる。
 様々な企業戦略やグローバル経営などを専門用語で説明できる。

【講義概要】

近年、世界各国の経済の相互依存関係が著しく進展を見据え、貿易や直接投資等をもたらす様々な経済的効果を議論する。
 貧困・エネルギー・地球環境問題等世界が取り組むべき重要課題についても取り上げる。経済活動のグローバル化を考え、
 グローバル化が進む国のマクロ経済を概観する。そして、経済学における企業行動の考え方を学び、経営学の視点から、
 経営・マーケティング戦略、グローバル経営、イノベーション、等を事例を交えて考察する。

回 授業計画及び学習の内容

1	イントロダクション	16	アメリカ・ヨーロッパの経済
2	国際経済を見る眼 経済の国際化,リージョナル化	17	アジアNIES、ASEAN、中国の経済
3	国際貿易-1- 国債貿易の利益	18	市場と競争 市場の均衡、経済厚生
4	国際貿易-2- 保護貿易、貿易と新興国経済	19	競争と戦略 ゲーム理論、ナッシュ均衡
5	国際金融-1- 国際金融取引、為替レートの決定	20	企業目的と成果 企業目的、所有者
6	国際金融-2- 欧州通貨統合、IMF	21	会社制度と経営 ソニーの例
7	経済統合 経済統合の歴史	22	経営戦略の策定 競争優位と戦略
8	貧困と開発 貧困の定義、貧困の現状と対策	23	生産の戦略 カンバン方式、新戦略
9	人口と食糧 人口問題と食糧安全保障	24	人的資源戦略 競争優位と人事戦略
10	資源とエネルギー-1- 将来のエネルギー源	25	財務戦略 資本コスト、資本構成
11	資源とエネルギー-2- エネルギー政策	26	コーポレートガバナンス 内部・外部統治
12	地球環境問題-1- 国際的な温暖化対策	27	グローバル経営 優位性/ライフサイクル
13	地球環境問題-2- 社会的共通資本	28	イノベーションとベンチャー 起業支援
14	マクロ経済学基礎 GDP、マクロ経済の均衡	29	経営倫理 社会的存在としての企業
15	日本のマクロ経済 低成長、低インフレ、アベノミクス	30	全員経営 知識創造モデル、事例

【成績評価方法】

小テスト3回(60%)、最終レポート(30%)、課題提出(10%)

【授業の特徴・形式と教員紹介】

授業は基本的に講義形式だが、テーマに応じてグループディスカッションなどを行う。
 担当教員は日本開発銀行(現日本政策投資銀行)などで役職を歴任し、企業向けの研修や講演なども数多く手がけている。これらの実務経験に基づいて授業を展開する。

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	日本文化芸能論	戸田佑也	2単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>伝統から現在までの文化や美術、芸能について学びながら、日本人の価値観や行動心理、日本社会の成り立ちや現実社会のあり方について考えることができるようになる。</p>			
【講義概要】			
<p>日本文化芸能を代表する作品を鑑賞することを通じて、現実社会との関係性を学び、それらを通じて現実社会のあり方を考える。また、現実のプロトタイプとして、フィクションをいかに活用していくか、その方策を学ぶ。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	16	伝統文化と現代社会 社会構造1
2	世界から見る日本の文化芸能1	17	伝統文化と現代社会 社会構造2
3	世界から見る日本の文化芸能2	18	伝統文化と現代社会 社会構造3
4	フィクションとノンフィクションについて1	19	伝統文化と現代社会 社会構造4
5	フィクションとノンフィクションについて2	20	リサーチⅢ
6	フィクションとノンフィクションについて3	21	リサーチグループ発表1
7	リサーチⅠ	22	リサーチグループ発表2
8	リサーチ個人発表1	23	伝統文化と現代社会 日本人の習慣と行動1
9	リサーチ個人発表2	24	伝統文化と現代社会 日本人の習慣と行動2
10	日本社会をシュミレーションするフィクションについて1	25	伝統文化と現代社会 日本人の習慣と行動3
11	日本社会をシュミレーションするフィクションについて2	26	リサーチⅣ
12	日本社会をシュミレーションするフィクションについて3	27	リサーチグループ発表3
13	リサーチⅡ	28	リサーチグループ発表4
14	リサーチ個人発表3	29	期末テスト
15	リサーチ個人発表4	30	総まとめ
【成績評価方法】			
授業参加40%、各回の課題及び期末レポートによる総合的な評価60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は講義のほか、学外でのリサーチ等も行う。担当教員は三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社で中央省庁・地方自治体の受託調査等の実務経験を持ち、株式会社あらまほしを設立し、日本文化や産業を社会に広げる事業を展開。これらの実務経験に基づいて授業を行う。</p>			

専門学校 東京声優アカデミー

国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	異文化コミュニケーション	田中真奈美、深山敏郎 二階堂幸弘、岡田麻唯	4単位／80時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
現代のグローバル社会において、異文化に対する感受性と他者への共感性を高め、バランスの取れた異文化コミュニケーション能力を身につける。			
【講義概要】			
異文化コミュニケーションに関する諸問題を多面的に捉え、その解決のための方法について考える。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	16	春期の振り返り
2	異文化コミュニケーションとは①	17	異文化コミュニケーションと国際社会(2)環境問題
3	異文化コミュニケーションとは②	18	異文化コミュニケーションと国際社会(3)ジェンダー
4	言語コミュニケーション	19	国際常識としてのシェイクスピア入門①喜劇
5	非言語コミュニケーション	20	国際常識としてのシェイクスピア入門②歴史劇、悲劇
6	自己を知る①	21	国際常識としてのシェイクスピア入門③その他の劇
7	自己を知る②	22	異文化理解①
8	カントリースタディ(1)スイス	23	異文化理解②
9	カントリースタディ(2)イラン・クウェート	24	カルチャーショックと異文化適応
10	カントリースタディ(3)ブルガリア	25	異文化シミュレーション「火星での災難」①
11	異文化と思い込み ゲシュタルト心理学の観点から	26	異文化シミュレーション「火星での災難」②
12	ゲーム:思い込みの排除(地図作成ゲーム)	27	異文化シミュレーション「火星での災難」③
13	異文化コミュニケーション・カントリースタディ(5)アメリカ	28	異文化シミュレーション「火星での災難」④
14	異文化コミュニケーションと国際社会(1)SDGs	29	日本企業と外資系・海外企業の違いの理解と適応①
15	春学期のまとめ	30	日本企業と外資系・海外企業の違いの理解と適応①
		31	異文化コミュニケーションと国際社会(4)宗教・人種
【成績評価方法】			
授業参加40%、創造性、フィードバックシート、小テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
異文化コミュニケーションを体験するグループワークやグループディスカッションなども行う。			
担当教員は企業、大学で異文化コミュニケーションを教える専門家と、外務省で実務経験を積んだ専門家であり、各担当は、これまでの実務経験に基づいて、授業をオムニバス形式で展開する。			

専門学校 東京声優アカデミー 国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実習	表現力	デイタム美和子	1単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
相手に配慮しながら詳しい説明や描写、意見や説得や助言、交渉などができる。 単なる伝達でなく、相手との関係を維持しながら、場面や話題に応じた話し方や進め方ができる。			
【講義概要】			
進学後、就職後を見据え、特に伝える力を引き上げる。 相手に与える印象や丁寧さを意識し、場面に合わせた表現や自分の考えや気持ちの伝え方を実践的に学ぶ。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション伝えることと表現とは	16	文化行事の紹介1〔発表〕
2	印象に残る自己紹介〔発表〕	17	文化行事の紹介2〔発表〕
3	はじめたきっかけを語る〔発表〕	18	困った状況の解決1〔グループワーク〕
4	失敗体験談〔発表〕	19	困った状況の解決2〔グループワーク〕
5	好きな町の様子を伝える〔発表〕	20	悩みや不満の相談対応1〔グループワーク〕
6	動作の順序の説明〔発表〕	21	悩みや不満の相談対応2〔グループワーク〕
7	スポーツの魅力を伝える〔発表〕	22	グラフや表の説明1〔発表〕
8	言い換えテクニック1〔発表〕	23	グラフや表の説明2〔グループワーク〕
9	言い換えテクニック2〔発表〕	24	制度の説明1〔グループワーク〕
10	比べて良さを伝える〔発表〕	25	制度の説明2〔グループワーク〕
11	好きな物語のあらすじ〔発表〕	26	社会問題について語る〔発表〕
12	最近の出来事で会話を続ける〔発表〕	27	ディベート1〔グループワーク〕
13	健康について話し合う〔グループワーク〕	28	ディベート2〔グループワーク〕
14	将来の夢を語る1〔グループワーク〕	29	期末テスト
15	将来の夢を語る2〔グループワーク〕	30	総まとめ
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
授業は講義と実習形式で行い、各回発表やグループワークを行う。 担当教員は演劇と言語表現の研究で博士課程前期を修了。早稲田大学、法政大学での講師経歴を持っており、これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。			

専門学校 東京声優アカデミー 国際コミュニケーション学科

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養課程	国際コミュニケーション学科	2020年度	1年／通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	表現力	デイタム美和子	2単位／40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
相手に配慮しながら詳しい説明や描写、意見や説得や助言、交渉などができる。 単なる伝達でなく、相手との関係を維持しながら、場面や話題に応じた話し方や進め方ができる。			
【講義概要】			
進学後、就職後を見据え、特に伝える力を引き上げる。 相手に与える印象や丁寧さを意識し、場面に合わせた表現や自分の考えや気持ちの伝え方を実践的に学ぶ。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション伝えることと表現とは	16	文化行事の紹介1
2	印象に残る自己紹介	17	文化行事の紹介2
3	はじめたきっかけを語る	18	困った状況の解決1
4	失敗体験談	19	困った状況の解決2
5	好きな町の様子を伝える	20	悩みや不満の相談対応1
6	動作の順序の説明	21	悩みや不満の相談対応2
7	スポーツの魅力を伝える	22	グラフや表の説明1
8	言い換えテクニック1	23	グラフや表の説明2
9	言い換えテクニック2	24	制度の説明1
10	比べて良さを伝える	25	制度の説明2
11	好きな物語のあらすじ	26	社会問題について語る
12	最近の出来事で会話を続ける	27	ディベート1
13	健康について話し合う	28	ディベート2
14	将来の夢を語る1	29	期末テスト
15	将来の夢を語る2	30	総まとめ
【成績評価方法】			
授業参加40%、テスト60%			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
授業は講義と実習形式で行い、各回発表やグループワークを行う。 担当教員は演劇と言語表現の研究で博士課程前期を修了。早稲田大学、法政大学での講師経歴を持っており、これまでの実務経験に基づいて授業を展開する。			